

令和3年9月第5回松阪市議会定例会

請願文書表

受理番号	請願第3号
受理年月日	令和3年8月25日
件名	教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める請願書
請願者の住所及び氏名	松阪市嬉野町1430番地 松阪市PTA連合会 会長 鈴木 寛子 松阪市魚見町884番地 三重県松阪市小中学校長会 会長 松本 賀美 松阪市嬉野中川町1854番地 三重県松阪市幼稚園長会 会長 金児 美季 松阪市垣鼻町1528番地4 三重県教職員組合松阪支部 支部長 鈴木 史彦
請願要旨	別紙のとおり
紹介議員	東村 佳子 吉川 篤博 橘 大介 殿村 峰代 中島 清晴 久松 倫生

教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求める
請願書


提出 令和3年 8月25日


松阪市議会議長 堀端 脩 様

吉川 篤博 

紹介議員 中島 清晴 

東村 佳子 
橋 大介 

久松 倫生 

殿村 峰代 

提出者

三重県松阪市嬉野町1430
松阪市PTA連合会

会長 鈴木 寛子



三重県松阪市魚見町884
三重県松阪市小中学校長会

会長 松本 賀美



三重県松阪市嬉野中川町1854
三重県松阪市幼稚園長会

会長 金 児 美 季



三重県松阪市垣鼻町1528-4
三重県教職員組合松阪支部

支部長 鈴木 史彦



請願の趣旨

子どもたちの「豊かな学び」の保障にむけ、教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充をおこなうよう採択いただき、国の関係機関に意見書を提出いただくようお願い申し上げます。

請願の理由

子どもたちの姿を出発点とした主体的で協働的な「豊かな学び」を実現するためには、教職員定数の改善が、最も重要な環境整備のひとつだと考えます。

2021年4月、国の学級編制の標準が40年ぶりに引き下げられ、小学校35人学級が実現しましたが、今年度は加配定数を振り替える形でおこなわれており、教職員数の実質増となってはいません。また、今後5年間で2年生から順次引き下げるとしてはいますが、中学校や高等学校等については、現時点においては、学級編制の標準の引下げはありません。国際的な比較においても、日本の1クラス当たりの児童生徒数は、2020年 経済協力開発機構（OECD）公表値では、小学校27人（OECD加盟国平均21人）、中学校32人（同23人）とどちらも大きく上回っている状況であり、小学校のみの改善に留めることは合理的ではないと言わざるをえません。教職員が心身ともにゆとりを持って子どもたちと向き合い、日々の教育活動を創り出していくことは、子どもたちの「豊かな学び」の保障につながる基盤となるものです。子どもたちが安心・安全に学べるようにするためにも、さらなる学級編制の標準の引き下げと、基礎定数と加配定数をともに改善する新たな教職員定数改善計画の策定と実施が強く望まれます。

また、教育の今日的課題の複雑化・多様化による学校現場の業務量は増加の一方であり、「学校における働き方改革」が叫ばれるなか、人的配置をはじめとする財政措置は、未だ不十分であると言わざるをえません。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、保護者が子どもたちを学校へ通わせるためには、マスクや消毒液等の感染対策に係る保護者の経費負担は確実に増加しており、ICTに関する費用も、新たな保護者負担として生じています。

公財政として措置される教育予算を拡充し、教育条件整備をすすめていくことが、山積する教育課題の解決へとつながり、そして、子どもたち一人ひとりの「豊かな学び」を保障することになると考えます。

以上のような理由から、教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算の拡充を強く切望するものです。